

農家のための最新情報



水稻苗の予約注文 受け付け中!!

近年の生産コストの高騰を受け、令和8年産から価格を改定させていただきました。何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。ご予約は、最寄りの支店・営農センターにてお願いします。

取り扱い品種（培土苗）

キヌヒカリ・にじのきらめき・
きぬむすめ・ヒノヒカリ・にこまる

価格（税込）

予約価格..... 990円／箱

当用価格..... 1210円／箱

配達料金..... 100円／箱

田植え箱回収料金..... 66円／箱

（キャンセル時は苗代の半額を請求
させていただきます）

田植え箱返却

田植え終了後、一ヶ月以内に箱を必ず洗い10箱を1束にくくり、グリーンステーション又は営農センターに返却し、必ず返却伝票をもつてください。返却無し、破損の場合は実費で請求となります（420円／箱）。

●予約締切日：2月27日（金）

※締切日以後は当用扱いとなります。
直前での追加・キャンセル・返品は
対応できません。

☆2月の農作業



▼土壤改良材の施用

肥料（窒素・リン酸・カリ）で補うことができない「ケイ酸、鉄、苦土、マンガン」などの成分を補給するため、土壤改良資材を投入しましょう。

- 農力アップ 100kg／10a（秋落ち田）
- 140kg／10a（10a）

ケイ酸の効果

①気象変動への対応力強化
茎葉を強くし、倒伏の軽減や、病害虫に強い株を作ります。

②登熟歩合を高める

受光体制を良くすることで、登熟歩合を向上させるとともに、乳白米の発生を抑制します。

③根に活力が生まれる
根張りを良くし、根の活性化、肥効の向上に役立ちます。

鉄の効果

○根を保護する
根腐れや秋落ちの防止、養分吸収の向上に役立ちます。

▼寒いこの時期に耕起を

水稻は、栽培期間中に利用する窒素のうち50～60%は土壤窒素を利用します。入水までに土壤を乾燥させると栽培期間中に土壤から供給される窒素が多くなります。これを「土壤の乾土効果」と呼び、水稻の生育が良くなることが知られています。稻刈り後耕起していない水田は、この時期に必ず行いましょう。

▽深耕15cmの確保
作土層が深い水田では整粒歩合（整った形をした米粒の割合）が高くなる傾向があることから、15cmの深耕を目標にしましょう。

野菜全般



この時期の露地野菜は、厳寒期に凍結する場合があります。気温が上昇し、霜が解けてから収穫しましょう。

●病害虫防除（本田防除）

降霜による黒シミ、ズルケ（菌核病・腐敗病）の発生が増加するので、選別を徹底してください。

▽2月上旬（※春のかほりSP②）
・アクセル（フ） 1000倍（前日／3回）
・シグナムWDG 1500倍（7日／2回）

▽2月中旬（※春のかほりSP③）
・キノンドー（フ） 1000倍（14日／3回）

▽2月上旬～中旬（※石井・YR春空）
・ウララDF 2000倍（前日／2回）

●施肥
○アブラムシ
乾燥が続くと発生しやすいです。
・あさひS602 80kg／10a
または

・ニューパワーユーキ262 (100kg/10a)

ハクサイ



厳寒期における外葉や結球葉の黄化に注意し、選別を徹底してください。

※春ハクサイ（春さかり・黄楽70）
育苗

本葉8枚以下の苗が13°C以下の低温にあわないようにしてください。15~20°Cで管理しましょう。

定植

暖かい日を選び、植え傷みを防ぎましょう。また、定植後すぐに被覆資材を掛け、保温性を高めましょう。

▽2月10日~3月15日:パオパオ掛け

・あさひS602
(80kg/10a)

ブロッコリー



花蕾についていた水滴は腐敗の原因になるので注意してください。

病害虫防除（本田防除）

▽2月中旬 ※クリア (10月中旬定植)
・アクセル(フ) 1000倍 (前日/2回)
・コルト(顆) 4000倍 (前日/3回)
・ナレート(水) 1000倍 (14日/2回)

花蕾発現期に止肥を行ってください。

・ニューパワーユーキ262 (80kg/10a)
●播種（春どり）

育苗温度は、発芽時までは25°C、その後は15~20°Cで管理してください。

▽2月1~10日 ※ピクセル

新シヨウガ



温度管理

2月中旬から無加温栽培の定植が始まります。植え付け後は地温が15°C以上になると発芽し生育を開始しますが、あまり高温で管理すると種シヨウガからの発芽本数が増加したり、第1次茎、第2次茎が細いため、後期の肥大にも大きく影響し、収穫作業や箱詰作業中に折れやすくなります。

地上部への出芽までは18~20°Cのやや低い目で管理し、出芽本数を1~2本に抑えるように心掛けてください。1つの種イモから数本の芽が発生した場合は、充実した芽を1本残して他の芽は除去してください。

植え付けから発芽までは表面を乾燥させないくらいの量にし、シヨウガの生育につれ徐々に増やすようにしてください。土壤をあまり乾燥させると生育後期に矢枯れが発生しますので注意してください。

灌水

植え付けから発芽までは表面を乾燥させないくらいの量にし、シヨウガの生育につれ徐々に増やすようにしてください。

土壤をあまり乾燥させると生育後期に矢枯れが発生しますので注意してください。

ピーマン



2月下旬から無加温栽培の定植が始まります。定植2~3週間前に元肥を全面に施用し、幅180cm程度の畝を立ててください。灌水パイプは畝の両側に配置します。

苗は、本葉11~13枚で一番花の開花初期に定植します。活着までは換気を控えめにし、温度が上がりすぎるとあれば、保温資材などで日覆いをしましょう。

活着後は日中25~27°Cを目標に換気します。

後は15~20°Cで管理してください。

▽2月1~10日 ※ピクセル

す。30°Cになると開花結果数が少くなり、開花しても落花しやすくなるので注意が必要です。また、低温の場合は生育が悪く、15°C以下になると果実に黒紫色のあざが発現し、辛味や変形果の原因となります。

ニンジン



ニンジンの早期播種の限界は気温10°Cといわれており、管内では2月下旬になります。被覆を行うので数日早く播種ができます。発芽は2週間程度で始まります。播種後、本葉2枚程度までは強い乾燥にあうと発芽不揃となり、生育が遅れるので注意しましょう。

岐根対策

岐根の原因は未熟堆肥の施用や、化学肥料が種子直下にある場合です。したがって化学肥料を施す場合、特に乾燥した畠は十分に深く土と混和することが不可以です。また、粒状堆肥は早め（播種の3週間前までがめやす）に施用するようにしてください。

発芽率の向上

播種後の乾燥は、発芽率の低下を招くので、天候を見ながら適宜灌水しましょう。

モモ



2月に入りモモの樹も休眠から覚めて活動し始めます。

整枝

剪定はすでに終了している園が多いですが、樹全体に日光が十分にあたるよう枝の配置ができるいるか再確認しましょう。

●病害虫防除

- ・石灰硫黄合剤 10倍 (発芽前/一)
発生が多い枝は剪定時に優先的に切り落とし、薬剤を散布してください。
- ・石灰硫黄合剤 10倍 (発芽前/一)
発生密度が高い場合は、カイガラムシ同士が重なり薬液がかからない場合があるので、ワイヤーブラシでこすり落としてから防除してください。

イチジク



剪定は3月までに終わらせましょう。

整枝・剪定

剪定は落葉後から始まります。樹勢の弱い樹や寒害にさらされやすい園地では、厳寒期以降に行います。主な剪定方法は、着果枝の基部から2芽を残して切ります。

芽のすぐ上で切ると、切口から雑菌が入り枯れることや新梢の伸びが悪くなることがありますので注意が必要です。

力ギ



2月も剪定や土壤改良など栽培の基礎となる作業が続きます。

深耕

樹の周囲に穴や溝を掘り、掘り上げた土に完熟した有機物や石灰資材などを混ぜて埋め戻す方法です。土中深くまで通

気性が良くなると、深層部への根の伸長・発達が促進されることで養水分の吸収が高まり、樹体の生育が良くなります。また、夏の干害も軽減できます。

○ 土壤改良剤
・ 完熟堆肥 (200 kg / 10 a)

- ・ 新ふりかけ堆肥 eco (200 kg / 10 a)
- ・ 苦土セルカフミン (120 kg / 10 a)

● 粗皮削り

カメムシ防除として殺虫剤を運用した園地では、天敵の減少によりカイガラムシ類が大量発生する可能性があります。来年度の発生を抑えるため、冬季の粗皮削りで越冬害虫の密度を下げましょう。

ミカン



2月の作業は土壤改良や剪定です。

● 土壤改良

一般に土壤改良作業には、深耕、土壤のpH調整、有機物や改良資材の施用などがあります。

土壤の酸性化はマンガン過剰による異常落葉、マグネシウム欠乏、窒素の肥効低下など樹の生育に悪影響を及ぼすので、石灰質資材の施用により是正を図つください。石灰は下層へ移行しにくいので深耕・中耕と合わせて行うと良いでしょう。

- 剪定
- ・ 剪定は、成り跡枝（果梗枝）を中心に行ないます。
- 土壤改良剤
・ 完熟堆肥 (200 kg / 10 a)
- ・ 新ふりかけ堆肥 eco (200 kg / 10 a)
- ・ 苦土入りセルカ2号 (200 kg / 10 a)

切削し、立枝・内梗枝など樹形を乱す枝を剪定しましょう。主枝・主幹に直接日光が当たると生育が悪くなるので注意してください。

土壤分析をしましょう！

土壤分析を希望する方は、乾燥させた200g程度の土を袋に入れ、住所・氏名・電話番号と品目名（水稻・キャベツ・ミカン等）を記入し、2月13日（金）までに各営農センターまでご持参ください（1点500円）。分析結果は3月中旬ごとにご連絡いたします。

水稻種子「温湯消毒」 申し込み受付中!!

品種 水稻うるち粉
価格 (税込) 80円/kg

処理時期
4月頃

実施場所 第1グリーンステーション
(品種ごとにネットに入れ、お持ちください)

● 申込締切日…2月27日(金)
※締切日以後の申し込みはお受けできません。

● 申込締切日…3月6日(金)
JAファーム
令和8年産
水稻作業委託受付中!!
例)代かき・田植え・稻刈りなど

お申し込み、お問い合わせは、最寄りの支店、営農センターまで

農業者年金で安心・豊かな老後を

○ 農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

国民年金 + 農業者年金

○ 終身年金で80歳までの保証付きです。

○ 支払った保険料は全額社会保険料控除となり、
節税になります。

農業者年金 へは

▶ 国民年金第1号被保険者

※国民年金保険料納付免除者を除く。

▶ 年間60日以上農業に従事

▶ 60歳未満

の方ならどなたでも加入できます。

※加入の際には国民年金の付加年金(月額400円)への加入が必要です。

月々の保険料を大きくすることで将来の支給額を増やせます

農業者年金の保険料は2万円から6万7千円まで (千円単位で) **加入者が自由に選択できます。**

また、保険料の額はいつでも見直すことができます。

加入期間が短くても、保険料を増やすことで豊かな老後に備えることができます。

※途中脱退された場合でも、それまでに積み立てた保険料は将来、年金として支払われます (脱退一時金はありません)。

◆ 農業者年金に加入すれば~農業者年金の受給額(年額)の試算~

加入年齢	納付期間	保険料額	年金額 (年額)		想定される受給総額	
			男性	女性	男性	女性
30歳	30年	2万円	55万円	48万円	1,189万円	1,301万円
40歳	20年	2万円	33万円	29万円	704万円	771万円
50歳	10年	2万円	15万円	13万円	314万円	343万円

※左のケースは、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が1.35%となった場合の試算です。制度発足以降22年間(令和5年度まで)の運用利回りの平均は、年率3.05%です。

※受給総額は65歳での農業者年金加入者について想定している平均余命を考慮し、男性86.5歳 女性92歳まで生存した場合の金額です。

※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

詳しくは… 農業者年金基金 [検索](https://www.nounen.go.jp) <https://www.nounen.go.jp>

内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJA支店、または農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人農業者年金基金 TEL: 03-5919-0371 E-mail: info@nounen.go.jp



地域の活動を
お届けします！

ふれ あい TOPICS



11月に、わかやま地域の5営農センターでブロック運営委員会を開きました。地域本部で地域運営委員会を開きました。5月に続き、2回目の開催です。組合員と役職員が直接対話する場を設けて意見を集め、事業運営に反映させることを目的としています。



地域運営委員会では、半田地域本部長が「上半期実績は計画以上となつた。今後の活動にも皆さまの声を反映していきたい」とあります。各事業担当者が令和7年度上半期実績と各ブロックから集約した意見と回答を報告。出席者は熱心に耳を傾け、活発な意見交換が行われました。



SDGsの目標達成に向けた社会福祉活動として、令和4年から実施している「愛をコメてプロジェクト」。本店、中央会、連合会、8地域の役職員らが精米を1合ずつ袋に入れて持ち寄り、リレー形式でNPO法人フードバンク和歌山に寄贈しています。



わかやま地域は役職員、女性会、青年部で304合を11月に寄贈しました。今回で全体の累計は1万6,077合。お茶碗換算(1杯あたり精米約68g)で3万5,369杯分となりました。小さなことでも積み重ねれば、大きなことを成し遂げます。これからも、思いやりのリレーは続きます。

**運営委員会を開き、
役職員が組合員と直接対話**

**スタンスマンが事故を再現
未然に防ぐ意識を高める**

**お茶碗3万5,000杯分に
「愛をコメてプロジェクト」**

**緊急時に率先した行動を
AED講習で経験を積む**

11月に、わかやま地域の5営農センターでブロック運営委員会を開きました。地域本部で地域運営委員会を開きました。5月に続き、2回目の開催です。組合員と役職員が直接対話する場を設けて意見を集め、事業運営に反映させることを目的としています。

交通安全啓発活動の一環として紀伊中学校のグラウンドで自転車の交通安全教室を開き、約560人の生徒が交通ルールやマナーを学習、再認識しました。

スタンスマンが運転中の「ながらスマート」や2人乗り走行などの違反行為、見通しが悪い位置からの飛び出しによる歩行者、車との衝突など、実際に起った事故を再現。時速40キロの車にはねられる場面では、激しい衝突音とともに生徒から悲鳴が上がりました。

「かも知れない運転」が事故を未然に防ぎます。生徒会長の吉村悠生さんは「生徒、先生全員で考えていいきたい」と話していました。

SDGsの目標達成に向けた社会福祉活動として、令和4年から実施している「愛をコメてプロジェクト」。本店、中央会、連合会、8地域の役職員らが精米を1合ずつ袋に入れて持ち寄り、リレー形式でNPO法人フードバンク和歌山に寄贈しています。

わかやま地域は役職員、女性会、青年部で304合を11月に寄贈しました。今回で全体の累計は1万6,077合。お茶碗換算(1杯あたり精米約68g)で3万5,369杯分となりました。小さなことでも積み重ねれば、大きなことを成し遂げます。これからも、思いやりのリレーは続きます。

東部営農センターでAED（自動体外式除細動器）講習会を開きました。万一の際、迅速に対処して人命救助に繋げることが目的です。当地域店舗で設置している職員、従業員が参加しました。

国内では年間約7万人が突然の心停止で死亡していると言われています。3人1組となり、声掛けの初動対応から救急車の手配、心肺蘇生、AEDの使用まで一連の流れを協力体制で実践しました。救命率は、心停止から1分ごとに約10%ずつ低下します。参加者は「緊急時の動きを確認できた。ためらわずに率先して行動してください」と話していました。

女性会リーダー会議・研修会

研修会では4月から改正される自転車の交通違反の取り締まり強化を受け、和歌山東警察署の警察官が、資料を使用して違反事例などを紹介。飲酒時の視界を再現したゴーグルを装着し、飲酒運転の危険性を認識するなど新たな発見や学びを深めました。



中央営農センターで**女性会リーダー会議**を開きました。堀川会長が「体調管理を心がけ、頑張っていきましょう」とあいさつし、今年度の「緑の力—テンフォトコンテスト」の入賞者を表彰。支部長間の交流、活動の円滑な企画立案に向けて、各支部が特色ある活動内容を発表し、共有しました。

キラキラ女性会

フレッシュミズはるか交流会

中央営農センターで、**ゆずポン酢・ヤンニヨムソース作り**をしました。ヤンニヨムソースとは、コチュジヤンや砂糖、一味などを混ぜ合わせた韓国の調味料です。両方とも手際よく作業が進み、あつと言つ間に完成です。ソースを使ったヤンニヨムチキン、もやしのナムル、中華スープで本場の味を楽しみました。鍋やサラダなどで活躍するゆずポン酢は、昆布とかつお節を入れ、冷蔵庫で1日寝かせて取り除き、さらに1週間置くと深みが出て料理を際立たせます。「いろんな料理に使うのが楽しみ」と大好評でした。



有功支部

恒例の活動、今年の干支「午」にちなんで**木目込み人形**を作りました。支部会員、東出雅子さんの指導のもと10月から少しずつ取り組み、年末までに完成しました。長年続いている活動で、「午」を作るのはこれまで3回目」と言う会員も！ 幸せを運ぶような可愛らしい人形たちが出来上がり、素敵な新年を迎えることができました。



雑賀支部

支部会員14人が参加し、**日帰りバスツアー**で神戸市須磨区へ行つてきました。まずは、源平合戦「一ノ谷の戦い」ゆかりの地と語り継がれる須磨寺で歴史情緒を堪能したあと、神戸須磨シーワールドへ。バイキング料理を味わい、イルカとシャチのショーを観覧しました。大迫力の躍动感に大満足。会員同士の親睦が深まる楽しい1日となりました。



「もったいない」を「ありがとう」に変えよう！ 女性会わかやま地域本部 **フードドライブ**

Food Drive

2月は東ブロックの助け合い強化月間です。ご提供いただける飲食料品がありましたら、2月20日(金)～27日(金) の間に最寄りの支店・営農センターまで、ぜひ、お願ひいたします。

